

2020年度外部評価

評価基準等、判定の留意点、評価結果

基準3. 教育課程

領域：卒業認定、教育課程、学修成果

(日本高等教育評価機構機関別認証評価における評価基準と留意点)

基準項目 3-1. 単位認定、卒業認定、修了認定

評価の視点	判定の留意点 <input checked="" type="checkbox"/>
① 教育目的を踏まえたディプロマ・ポリシーの策定と周知	<input type="checkbox"/> 教育目的を踏まえ、ディプロマ・ポリシーを定め、周知しているか。
② ディプロマ・ポリシーを踏まえた単位認定基準、進級基準、卒業認定基準、修了認定基準等の策定と周知	<input type="checkbox"/> ディプロマ・ポリシーを踏まえた単位認定基準、進級基準、卒業認定基準、修了認定基準等を適切に定め、厳正に適用しているか。
③ 単位認定基準、進級基準、卒業認定基準、修了認定基準等の厳正な適用	

エビデンスの例示

- ・ ディプロマ・ポリシーを示す資料
- ・ 単位認定基準、進級基準、卒業認定基準、修了認定基準などを示す資料
- ・ 単位認定など成績評価の公平性のための工夫、GPA (GradePointAverage) などの活用状況を示す資料
- ・ 学位審査基準及び学位審査手続きの実際を示す資料

関連する参照法令等

- ・ 学校教育法第87条（修業年限）、第88条（相当期間の修業年限への通算）、第89条（修業年限の特例）、第104条（学位）、第105条（証明書の交付）
- ・ 学校教育法施行規則第4条（学則の記載事項）、第146条（修業年限の通算）、第147条（修業年限の特例による卒業認定の要件）、第148条（修業年限が四年を超える学部の在学期間）、第149条（在学期間の通算）、第163条の2（学修証明書の交付）、第164条（証明書の交付に関する細目）、第165条の2（方針の策定）、第172条の2（情報の公表）、第173条（準用規定）
- ・ 大学設置基準第21条（単位）、第25条の2（成績評価基準等の明示等）、第27条（単位の授与）、第28条（他の大学、専門職大学又は短期大学における授業科目の履修等）、第29条（大学以外の教育施設等における学修）、第30条（入学前の既修得単位等の認定）、第31条（科目等履修生等）、第32条（卒業の要件）、第33条（授業時間制をとる場合の特例）、第44条（共同教育課程に係る単位の認定）、第45条（共同学科に係る卒業の要件）
- ・ 学位規則第2条（学士の学位授与の要件）、第10条（専攻分野の名称）、第13条（学位規程）

【評価】

判定の留意点に基づく所見（自己点検・評価報告書や自己点検レポートの記述に基づいて判定をご記入ください、枠は記述に合わせて拡げられます。）

- 教育目的を踏まえ、ディプロマ・ポリシーを定め、周知しているか。

【評価】

基準を満たしている。

【理由】

中教審大学分科会大学教育部会のガイドライン及び建学の精神に基づき、人材養成の目的を踏まえたディプロマ・ポリシーが策定され、身に付けるべき6つの学士力、さらには13の資質や能力を定め、ホームページや専用WebサイトのHUSナビの「教務ブック」で周知している。

- ディプロマ・ポリシーを踏まえた単位認定基準、進級基準、卒業認定基準、修了認定基準等を適切に定め、厳正に適用しているか。

【評価】

基準を満たしている。

【理由】

各学部学科のディプロマ・ポリシーに基づき、単位認定基準・進級基準・卒業認定基準・修了認定基準等を策定し、学則等・シラバス・履修ガイドで周知している。

学部学科で活用方法は異なるが、成績評価に、GPA(Grade Point Average)制度を導入し、学部学科毎の基準をシラバスで周知を図り、各基準に基づき評価を行っている。

自由記述（JIHEE基準に係わらずお気づきの点があればご記入願います）

【参考意見】

とても優秀だがコミュニケーションに欠けているような偏りのある学生への支援を検討いただきたい。

基準項目 3-2. 教育課程及び教授方法

評価の視点	判定の留意点 <input checked="" type="checkbox"/>
① カリキュラム・ポリシーの策定と周知	<input type="checkbox"/> 教育目的を踏まえ、カリキュラム・ポリシーを定め、周知しているか。
② カリキュラム・ポリシーとディプロマ・ポリシーとの一貫性	<input type="checkbox"/> カリキュラム・ポリシーは、ディプロマ・ポリシーとの一貫性が確保されているか。
③ カリキュラム・ポリシーに沿った教育課程の体系的編成	<input type="checkbox"/> カリキュラム・ポリシーに即した体系的な教育課程を編成し、実施しているか。 <input type="checkbox"/> シラバスを適切に整備しているか。 <input type="checkbox"/> 履修登録単位数の上限の適切な設定など、単位制度の実質を保つための工夫が行われているか。
④ 教養教育の実施	<input type="checkbox"/> 教養教育を適切に実施しているか。
⑤ 教授方法の工夫・開発と効果的な実施	<input type="checkbox"/> アクティブ・ラーニングなど、授業内容・方法に工夫をしているか。 <input type="checkbox"/> 教授方法の改善を進めるために組織体制を整備し、運用しているか。

エビデンスの例示

- ・ カリキュラム・ポリシーを示す資料
- ・ 教授方法の工夫・開発の具体例を示す資料
- ・ 教養教育担当組織の現況と活動状況を示す資料
- ・ 単位制の趣旨を保つための工夫（教室外学修の指示など）を示す資料
- ・ 履修登録単位数の上限設定など履修上の条件と制限などを示す資料

関連する参照法令等

- ・ 学校教育法第92条（学長、教授その他の職員）、第113条（教育研究活動状況の公表）
- ・ 学校教育法施行規則第4条（学則の記載事項）、第24条（指導要録の作成）、第28条（表簿）、第163条（学年の始期及び終期）、第165条の2（方針の策定）、第172条の2（情報の公表）
- ・ 大学設置基準第6条（学部以外の基本組織）、第7条（教員組織）、第10条（授業科目の担当）、第10条の2（専攻分野における実務の経験及び高度の実務の能力を有する教員）、第11条（授業を担当しない教員）、第12条（専任教員）、第13条（専任教員数）、第14条（教授の資格）、第15条（准教授の資格）、第16条（講師の資格）、第16条の2（助教の資格）、第17条（助手の資格）、第19条（教育課程の編成方針）、第20条（教育課程の編成方法）、第22条

北海道科学大学

(一年間の授業期間)、第23条(各授業科目の授業期間)、第25条(授業の方法)、第25条の3(教育内容等の改善のための組織的な研修等)、第26条(昼夜開講制)、第27条の2(履修科目の登録の上限)、第30条の2(長期にわたる教育課程の履修)、第31条(科目等履修生等)、第42条の3の2(学部等関係課程実施基本組織)、第43条(共同教育課程の編成)、第46条(共同学科に係る専任教員数)、第49条の2(工学に関する学部の教育課程の編成)、第60条(段階的整備)

【評価】

判定の留意点に基づく所見(自己点検・評価報告書や自己点検レポートの記述に基づいて判定をご記入ください、枠は記述に合わせて拡げられます。)

教育目的を踏まえ、カリキュラム・ポリシーを定め、周知しているか。

【評価】

基準を満たしている。

【理由】

学科毎にディプロマ・ポリシーの目標達成のためのカリキュラム・ポリシーを策定し、学科毎に履修指針ガイダンスやホームページ等で周知している。

カリキュラム・ポリシーは、ディプロマ・ポリシーとの一貫性が確保されているか。

【評価】

基準を満たしている。

【理由】

カリキュラム・フロー及び各授業科目の達成目標とディプロマ・ポリシーの各項目との関連性を集約したカリキュラム・マップを作成することで、カリキュラム・ポリシーとディプロマ・ポリシーとの一貫性を確保し、ホームページ等で周知している。

カリキュラム・ポリシーに即した体系的な教育課程を編成し、実施しているか。

【評価】

基準を満たしている

【理由】

見直した3ポリシーに基づき、各学科・専攻の教育課程の見直しを行っている。

基本教育科目に専門教育との接続を意識した「知識・理解」「汎用的技能」「態度・志向性」を培う科目を開設し教養教育を実践している。

□ シラバスを適切に整備しているか。

【評価】

基準を満たしている。

【理由】

シラバス作成要領に授業の目的・達成目標・成績評価等についての具体的な記載内容について明示し、教育の質の保証について周知している。また、シラバスは、学科等により査読及び点検を行っている。

【参考意見】

シラバスにおける教員目線の記載、字数制限、達成目標設定の自由度や外部講師への作成支援等について検討してはどうか。

□ 履修登録単位数の上限の適切な設定など、単位制度の実質を保つための工夫が行われているか。

【評価】

基準を満たしている。

【理由】

全ての学部学科で履修上限を設定し、学部履修規程や履修ガイド等に明示し、ホームページで周知している。

教育内容を精選し、必要な授業科目の優先順位を踏まえた配置にすることにより、単位の実質化を図っている。単位制度の実質化については学則の授業科目及び単位、ホームページ等で周知している。

□ 教養教育を適切に実施しているか。

【評価】

基準を満たしている。

【理由】

全学共通教育部が多岐にわたる基礎教育及び教養教育として、コミュニケーション力・課題発見力・他者協調力・自立学習力を養う教育課程を体系的に実施している。

社会で求められる力を涵用するため全学共通教育部による基本教育科目の現状と課題に係る全学FD・SD活動を行っている。

学習支援室とラーニングサポート室を開設し、数学・英語・日本語・化学・物理の学修に

関するサポートを行っている。

□ アクティブ・ラーニングなど、授業内容・方法に工夫をしているか。

【評価】

基準を満たしている。

【理由】

インタラクティブ・ボード設置による教室の環境整備、基本教育科目のプロジェクトスキルにおける、自学科の理念を十分理解し、主体的学修生活についての意識を高めるための、解説的授業及び課題解決型のグループワーク等、アクティブ・ラーニングを実践・推進している。

□ 教授方法の改善を進めるために組織体制を整備し、運用しているか。

【評価】

基準を満たしている。

【理由】

FD委員会が授業アンケートを実施し、アンケートの集計結果と授業担当教員の自己評価及び学生コメントに対する回答を公開している。

学科の問題点と改善点等の検討により、改善が必要とされる科目については履行状況の提出を要請している。

授業参観の結果について、学科内FD研修会での情報共有等により、授業改善を推進している。

自由記述（JIHEE基準に係わらずお気づきの点があればご記入願います）

特になし。

基準項目 3-3. 学修成果の点検・評価

評価の視点	判定の留意点 <input checked="" type="checkbox"/>
① 三つのポリシーを踏まえた学修成果の点検・評価方法の確立とその運用	<input type="checkbox"/> 三つのポリシーのうち、特にディプロマ・ポリシーを踏まえた学修成果を明示しているか。 <input type="checkbox"/> 学生の学修状況・資格取得状況・就職状況の調査、学生の意識調査、卒業時の満足度調査、就職先の企業アンケートなどを実施し、大学が定めた多様な尺度・指標や測定方法に基づいて学修成果を点検・評価しているか。
② 教育内容・方法及び学修指導等の改善へ向けての学修成果の点検・評価結果のフィードバック	<input type="checkbox"/> 学修成果の点検・評価の結果を教育内容・方法及び学修指導の改善にフィードバックしているか。

エビデンスの例示

- ・ 学修成果を示す資料
- ・ 学修成果の点検・評価の尺度・指標や測定方法を示す資料
- ・ 学修成果の点検・評価の結果の分析及び教育改善へのフィードバックを示す資料

関連する参照法令等

- ・ 大学設置基準第25条の3（教育内容等の改善のための組織的な研修等）

【評価】

判定の留意点に基づく所見（自己点検・評価報告書や自己点検レポートの記述に基づいて判定をご記入ください、枠は記述に合わせて広げられます。）

三つのポリシーのうち、特にディプロマ・ポリシーを踏まえた学修成果を明示しているか。

【評価】

基準を満たしている。

【理由】

北海道科学大学アセスメント・ポリシーを定め、3つのポリシーの妥当性と3つのポリシーに基づく教育の実施による学修成果（プログラム、授業科目、学生の達成度）の評価の方針を明示し、大学レベル、プログラムレベル、授業科目レベルで点検している。

- 学生の学修状況・資格取得状況・就職状況の調査、学生の意識調査、卒業時の満足度調査、就職先の企業アンケートなどを実施し、大学が定めた多様な尺度・指標や測定方法に基づいて学修成果を点検・評価しているか。

【評価】

基準を満たしている。

【理由】

自己点検IR委員会を組織し、学生のGPA、修得単位数、各科目の成績評価分布、教育目的達成度調査結果等の各種データを収集・分析するとともに学科等にその情報を提供し、学科教育自己点検会議が点検・評価を行っている。

【優れた点】

・ポートフォリオによる自己点検と客観的な成績を示すことにより、学生が自己分析できる点と、個別面談をとおして学生の自己評価や成績に対しての聞き取りを行っている点は評価できる。

【参考意見】

国家試験合格率のパンフレット等への数値記載は、誤解を招くこともあるのではないか。

- 学修成果の点検・評価の結果を教育内容・方法及び学修指導の改善にフィードバックしているか。

【評価】

基準を満たしている。

【理由】

各学科は、学科教育自己点検レポートを自己点検・評価委員会に提出し、学科長総括報告会で報告している。学長は、その報告を受けて改善が必要な事項について、改善の実施を求めることで、評価結果をフィードバックすることでPDCAサイクルに繋げている。

自由記述（JIHEE基準に係わらずお気づきの点があればご記入願います）

基準項目 A-1. 社会連携

【参考意見】

リカレント教育が他大学に比べると少ないのではないか。